

# 【商業科・事務情報科】 3年次 【選択】科目「ビジネス経済応用」授業のシラバス

## 1 概要

| 教科名      | 商業                                                                    | 科目名      | ビジネス経済応用                                                      | 単位数(コマ数) | 2(105) |
|----------|-----------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------|----------|--------|
| 科目の目標    | ビジネスに必要な経済に関する知識を習得させ、経済社会の動向について理解させるとともに、サービス経済社会に適切に対応する能力と態度を育てる。 |          |                                                               |          |        |
| 教科書(出版社) | ビジネス経済応用(実教出版)                                                        | 副教材(出版社) | ビジネス経済応用 問題集(実教出版)<br>平成31年度版 全商商業経済検定模擬問題集1・2級 ビジネス経済B(実教出版) |          |        |

## 2 学習の方法

### (1) 予習について

教科書の内容については、事前に取り組んだ方が良いでしょう。先生の指示に従ってください。

### (2) 授業について

毎時間の授業を大切に集中して取り組んでください。疑問点は遠慮なく質問してください。

先生の指示に従い、授業で使用するものを確認してください。もし忘れた場合は、授業が始まる前に教科担当の先生に申し出てください。この授業で使用するファイルは「プラスチックの赤(ピンク)」です。

板書していない事であっても、大切だと思ったこと、重要だと思ったことはノートにメモを取るようにしてください。

### (3) 復習について

教科書やノート、プリント等で、その日にやった内容を確認しておく方が良いと思います。疑問点や分からない点は、教員や友人に聞いて、早めに解決しておきましょう。

#### 〈学習アドバイス〉

2月の全商商業経済検定の「ビジネス経済B」に対応する科目です。日々の授業を大切にに取り組んでください。新聞やニュースなどを見る習慣をつけてください。また、日本や世界の経済の動向に着目して生活をしてください。

## 3 評価について

### (1) 評価の観点

| 観 点        | 趣 旨                                                                                  |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 関心・意欲・態度 | ビジネスに必要な経済について関心を持ち、サービス経済社会への適切な対応を目指して主体的に取り組もうとするとともに、経済社会の動向や実践的な態度を身に付けている。     |
| ② 思考・判断・表現 | サービス経済社会に適切な対応を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。 |
| ③ 技能       | ビジネスに必要な経済に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、サービス経済社会に適切な対応を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。                 |
| ④ 知識・理解    | ビジネスに必要な経済に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、経済社会の動向について理解している。                                     |

### (2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

| 評価材料       |     | 定期考査・確認テスト |                               | 授業態度 | 小テスト | ノート<br>プリント | 課題 |
|------------|-----|------------|-------------------------------|------|------|-------------|----|
| 観 点        | 割合  |            |                               |      |      |             |    |
| ① 関心・意欲・態度 | 10% | ○          | 日常生活でどのように活かされているかを問うことがあります。 | ◎    |      | ○           | ○  |
| ② 思考・判断・表現 | 25% | ○          | 教科書の章末問題、問題集レベル               |      | ○    | ○           | ○  |
| ③ 技能       | 25% | ○          | 教科書の章末問題、問題集レベル               |      | ○    | ○           | ○  |
| ④ 知識・理解    | 40% | ○          | 教科書の章末問題、問題集レベル               |      | ○    | ○           | ○  |

#### 〈担当者からのメッセージ〉

●卒業後、社会の即戦力になれるよう、ビジネスに必要な経済に関する知識を身に付けてください。

**【商業科・事務情報科】 3年次 【選択】科目「ビジネス経済応用」授業のシラバス**

**4 授業計画**

| 月        | 単元                                  | 時数       | 学習内容                                                                                     | 観点別評価  | 到達目標                                                                                                             | 考查等              |
|----------|-------------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| 前期<br>4  | 第1章 サービス経済化とサービス産業<br>1. 産業構造の変化と労働 | 9        | 1 産業構造の変化<br>2 労働市場の変化<br>3 消費構造の変化                                                      | ①      | わが国における産業構造の移りかわりや、サービス経済化の進展要因について探究しようとしている。                                                                   | 前期中間考查           |
|          | 2. サービス産業の現状                        |          | 1 経済の発展とサービス産業の現状<br>2 対個人サービス産業の現状<br>3 対事業所サービス産業の現状<br>4 新しいビジネスチャンスの発見               | ④<br>④ | 経済の発展にともなって出現した新しいサービス産業の役割と、その特徴について理解している。<br>対個人サービス産業や対事業所サービス産業の現状について、ビジネスの機会をとらえて成長した企業の具体的な事例を通して理解している。 |                  |
| 5        | 第2章 経済の国際化<br>1. 企業の国際化・グローバル化      | 12       | 1 国際化からグローバル化へ<br>2 グローバル化の主体<br>3 わが国の企業のグローバル化<br>4 地域経済統合                             | ①      | 企業が国際化からグローバル化へと進展する現状について、自ら進んで確認しようとする意欲や態度を持っている。                                                             |                  |
|          | 2. 国際化の進展と国際収支                      |          | 1 国際収支の構造<br>2 国際収支と国内総生産<br>3 債権国と債務国                                                   | ④<br>④ | 国際収支と国内総生産などの指標との関係、また国内総生産の三面等価の原則について理解している。<br>国際分業の利益、自由貿易と保護貿易の相違点、貿易構造およびその変化、国際資本移動の形態と役割について理解している。      |                  |
| 6        | 3. 貿易の利益と課題                         | 12       | 1 貿易の役割<br>2 貿易構造の変化                                                                     | ②      | 欧米の金融問題や、その問題を踏まえた金融規制を通して、国際資本移動の現状と今後の課題について考察することができる。                                                        | 夏季休業明け<br>確認テスト  |
|          | 4. 国際資本移動                           |          | 1 国際資本移動の形態<br>2 国際資本移動の役割<br>3 金融のグローバル化<br>4 アメリカとヨーロッパにおける金融問題<br>5 世界経済の安定を目的とした金融規制 | ④      | 外国為替のしくみと外国為替相場を理解している。                                                                                          |                  |
|          | 5. 外国為替                             |          | 1 外国為替のしくみ<br>2 外国為替相場の変動要因<br>3 外国為替相場の種類<br>4 為替リスク                                    |        |                                                                                                                  |                  |
| 7        | 第3章 金融市場と資本市場<br>1. 金融取引の発達         | 12       | 1 金融取引とは何か<br>2 金融取引の現状                                                                  | ④<br>④ | 直接金融と間接金融について、それぞれ金融機関との関わりを通して理解している。<br>金融市場の概念とその意義について理解し、企業の営業活動と資金調達を通して短期金融市場の概要について理解している。               |                  |
|          | 2. 貯蓄と投資の動向                         |          | 1 直接金融と間接金融<br>2 貯蓄と投資の意義<br>3 わが国における貯蓄と投資の動向                                           | ④      | 資本市場の概要について、債券市場と株式市場を中心に理解している。                                                                                 | 前期期末考查           |
| 8        | 3. 金融市場と資本市場の役割                     | 6        | 1 金融市場とは<br>2 資本市場とは                                                                     | ④      | 金融庁の役割とその諸政策を通して、金融市場・資本市場を支える行政組織について理解している。                                                                    |                  |
|          | 4. 金融市場と資本市場の課題                     |          | 1 金融市場・資本市場を支える行政組織<br>2 経済の国際化と金融市場・資本市場の課題                                             | ②      | 経済の国際化による金融市場・資本市場への影響と今後の課題について考察することができる。                                                                      |                  |
| 9        | 第4章 企業経営<br>1. 企業経営の特色              | 12       | 1 自由な競争と日本的経営<br>2 財務的特質と企業間関係<br>3 雇用慣行の特色<br>4 集団的意思決定<br>5 わが国企業経営の課題                 | ④<br>② | わが国の企業をとりまく外部環境の変化についての知識を身に付け、企業経営に影響を及ぼしている現状について理解している。<br>外部環境の変化の過程でどのような企業経営が必要か、その方向性を考察することができる。         |                  |
| 後期<br>10 | 2. 企業経営と外部環境                        | 15       | 1 少子高齢化と人口減少への対応<br>2 国民生活の変化への対応<br>3 国際化の進展と規制緩和への対応<br>4 情報社会への対応                     | ②      | 企業の社会的責任を、具体的事例を通して把握し、その質的变化や環境問題への取り組み、社会貢献が求められている現状について考察することができる。                                           | 後期中間考查           |
|          | 3. 企業の社会的責任                         |          | 1 企業の社会的責任とその動向<br>2 企業の社会的責任とコーポレートガバナンス                                                | ④<br>① | わが国の企業の海外進出の経緯とその変化について理解している。また、国際経済の中で何が重要なのかを企業の側面から理解している。<br>経済の国際化による金融市場・資本市場への影響と今後の課題について探究している。        |                  |
| 11       | 4. 企業の海外進出と経営                       | 15       | 1 企業の海外進出の現状<br>2 企業経営の現地化と地域社会への貢献                                                      |        |                                                                                                                  |                  |
|          | 第5章 ビジネスの創造と地域産業の振興<br>1. 起業の手続き    |          | 1 起業の意義<br>2 経営理念の作成<br>3 起業にさいしての支援制度<br>4 株式会社設立の流れ                                    | ④<br>④ | 起業の意義と経営理念の重要性、また、起業に対する支援制度について理解している。<br>事業目的や商号の決定、定款の認証と登記など、株式会社設立のための手続きの流れについて理解している。                     |                  |
| 12       | 2. 新たなビジネスの展開                       | 9        | 1 わが国の新たなビジネスの現状<br>2 新たなビジネスの考察                                                         | ③      | 調査や研究の結果をもとに、地域産業振興のための具体的なビジネスアイデアを考案し、ビジネスプランを作成することができる。                                                      | 冬季休業明け<br>確認テスト  |
| 1        | 3. 地域ビジネス事情                         | 3        | 1 地域ビジネスの動向と地域の資源<br>2 地域産業振興をめざした地域ビジネスの立案                                              |        |                                                                                                                  | 全商商業経済検定<br>(2月) |
|          |                                     | 計<br>105 |                                                                                          |        |                                                                                                                  |                  |

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。